

# 環境活動レポート

---

2015年度(2015年4月～2016年3月末)



株式会社 日本工業社  
企画管理部



## 会社概要

■社名 株式会社 日本工業社

■創業 1949年5月

■資本金 1000万円

■事業内容 企業内常駐型(オンサイト)のアウトソーシングサービスを中心に顧客企業の要求に合わせてドキュメントサービスを展開。その他、快適なオフィス環境実現に向けた支援サービスを実施。

1. ドキュメントプロダクション
  - ・ コピー、プリント、製本
  - ・ ビジネス印刷(名刺、封筒、ハガキなど)
  - ・ データ加工(作成、修正、変換など)
  - ・ 電子文書化(スキャニング)
2. ドキュメント入出力機器管理
  - ・ コピー機・複合機などの管理(資産管理、運用・保守管理、消耗品管理)
  - ・ 機器の適正配置
3. オフィスサポート
  - ・ 快適なオフィス環境支援
  - ・ オフィス移転支援

■所在地 本社:中央区新川 2-26-3 住友不動産茅場町ビル 2号館5F  
事業所:都内4箇所

■従業員数 34名(男:20名 女:14名) 2016/03月末現在

■主要取引先 新日鐵住金株式会社 新日鐵住金ソリューションズ株式会社  
新日鐵住金エンジニアリング株式会社 新日鐵興和不動産株式会社  
JX オフィスサービス株式会社(JXグループ)  
富士ゼロックス株式会社 リコージャパン株式会社  
キャノンマーケティングジャパン株式会社

---

## 環境方針

---

### ■ 基本理念

私たち(株)日本工業社は複写・デジタル印刷をメインとするオフィスサービスをお客様へ提供する事業を通じ、社員一人ひとりが地球環境保全に努め、豊かな環境社会の実現と次世代への継承に貢献することを目指します。

### ■ 行動指針

- ・地域社会とのコミュニケーションに努め、社会への環境保全に貢献します。
- ・環境法規制及び当社が同意した協定を遵守します。
- ・省資源、廃棄物の適正処理と削減、グリーン購入を推進します。
- ・経営者は地球環境を経営の重点課題とし、事業活動全領域において環境保全に配慮した計画、目標を策定します。

2015 年度 環境活動 計画と実績

項目	NO	重点管理項目	環境目標	対象部署	関連法令 案令	実績
電力 不足 対応	001	省エネ活動推進	・JII節電対策ガイドライン リニューアル	本社	地球温暖化 事業活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度計画を踏襲</li> <li>・年間計画 26,000kwh 実 績 20,992kwh</li> </ul>
		省エネ活動推進 ガイドライン運用管理	・チェックリストの運用管理	本社	地球温暖化 事業活動 社員教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画管理部にてガイドライン運用をチエック</li> <li>・着しい逸脱は見受けられなかったが、 移転後、未使用スペースの消灯意識が 薄れる行動が見受けられた</li> </ul>
意識 向上	002	環境教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な情報提供 目標:環境委員通信展開 4回/年</li> </ul>	全社	社員教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実績 2 回</li> </ul>
地域 社会 貢献	003	地域社会への貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・WWF募金活動</li> <li>・エコキャップ運動参加</li> <li>・環境イベント参加</li> </ul>	全社	事業活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・WWF 募金 ⇒ 未実施</li> <li>・エコキャップ運動実施 ⇒ 株式会社エコ配を通じ 1.5 回実施 約 1,200 個(ワクチン 1.5 本分)を 寄付</li> <li>・環境イベント参加 ⇒ 未実施</li> </ul>

2015 年度 環境活動総合評価

1. 節電への意識は維持されており、電力使用量は前年対比マイナスの実績となった。
2. 「環境教育(計画 No002)」については環境省による「Fun to Share」メールマガジン掲載内容を社内電子掲示板にて展開。目標 4 回に対し 2 回の実績であり、今後も継続課題とする。
3. エコキャップ活動は移転によりテナントビルフロアが専有スペースとなり自社社員のみでの活動となったため、ワクチン1.5 本分の実績を残せたものの、前年度の数には及ばなかった。

2016 年度 環境活動目標指針

1. 節電対策の数値目標は、前年実績をベースとする
2. 従業員への情報発信による環境教育の充実
3. 環境活動の定期的なトレースを実行

2016 年度 環境活動計画

項目	NO	重点管理項目	環境目標	対象	関連法令 条令	実行計画
節電対策	001	省エネ活動推進	年間電力使用量目標 ／20,000kwh	本社	地球温暖化 事業活動	「消灯・電源切り」意識の 定着徹底
意識向上	002	環境教育	定期的な情報提供 目標:4回/年	全社	社員教育	環境省による「Fun to Share」 メールマガジンより社内展開
社会貢献	003	社会貢献	・WWF募金活動 ・エコキャップ運動の 継続	全社	事業活動	・WWF 募金の実行 ・エコキャップ運動実施 3 回

---

## 代表者による全体評価

---

### 【節電対策】

東日本大震災から5年。依然苦勞されている被災者のことを考えれば、「我々のできること」をやり続けることは当然のことである。単に電気料金だけでなく、エネルギー問題について一層の関心を高めるチャンスとしてほしい。

### 【意識向上】

定期的な情報提供により、様々な環境活動の存在を知り、一人一人の小さな取り組みの積み重ねが大きな成果につながることを学んだ。今後は、地元での取り組みも合わせて関心を持ち、できれば参画することを勧める。

### 【社会貢献】

規模は縮小したとはいえ、自社での取り組みが継続できていることは大切なことだ。今後は、関連展示会の視察及び報告や他の会社での取り組みにより関心を持って、一つでもいいので採用してほしい。

株式会社日本工業社  
代表取締役 米田和秀

---

## 違反・提訴等

---

環境関連法令を遵守し、違反、提訴等なし

---

## JII2015 年度環境活動レポート

発行 2016 年 6 月 1 日

株式会社日本工業社  
企画管理部 石毛裕里菜